マンセル値

1班

上村
岡本
村上

始めに

私達は構成要素を調べる上で数値化できるモノを調べていて、色の数値化に着目した。
しかし、「それらを発展させて何に向かわせるのか」という問題に行き着き先に進めない事態になりました。
そこで今回は色の表記マンセル値を主に調べることにしました。

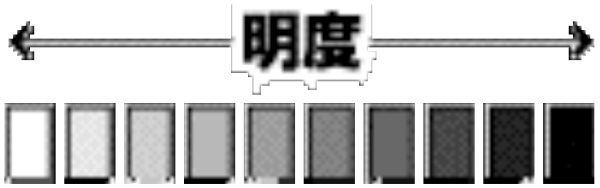
マンセル値とは？

- アルバート・ヘンリー・マンセルが考案。
- 色を色相（H）・明度（V）・彩度（C）で表現。
- 日本の工業規格（JIS）に採用。

色相（H）

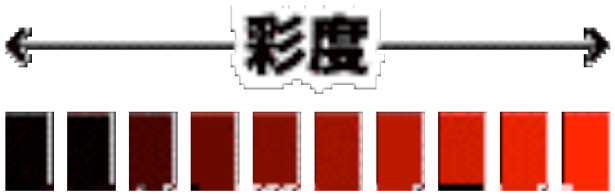
赤(R)・黄(Y)・緑(G)・青(B)・紫(P)
の５色相（基本色相）を円周上に等間隔に配し、これらの色相の中間に二次色
橙(YR)・黄緑(GY), 青緑(BG)・青紫(PB)・赤紫(RP)
を置き（補色色相）、計10色相に分割する（マンセル10色相環）。
さらにそれぞれを10等色し、100分割になるように目盛る（マンセル色相環）。
この環で、180度の角度で位置する色は互いに補色関係にある

明度（V）

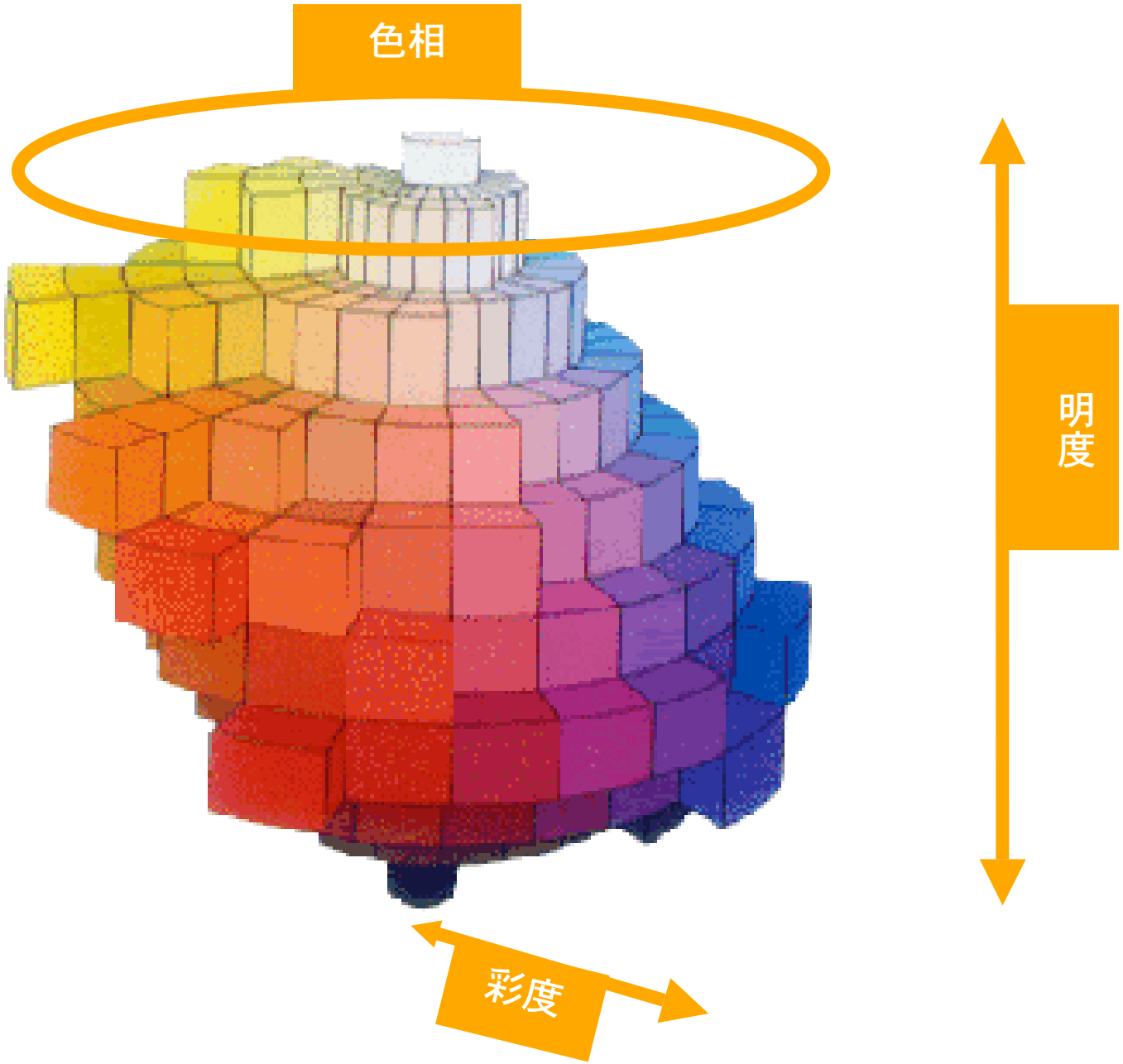


色の明るさの度合いを明度といい、黒～灰～白の系列を感覚的に等しく分割して明度尺度とします。 理想的な黒を０、理想的な白を１０としますが、色紙で表せる範囲はほぼ１～9.5までです。 明度は段階につけて数字をつけて標記します

彩度（C）



色のさえ方の度合いを彩度といいます。彩度は、無彩色を起点とし、色みの強さ従って尺度化されます。



<引用>
http://www.homepro.co.jp/palette/ic/vol1/index_01.html

なぜマンセル値？

- 直感的な表現ができる。
- 工業用途に使用されており、印刷・デザイン分野では一般的な表現法だから。

マンセル値を使って・・・・

- 路地の写真をとる。
- 写真に写っている構成要素(道路、看板、草木、ｅｔｃ・・・)ごとに色をRGB値で抽出。
- 抽出したRGB値をマンセル値に変換する。
- 変換した値を場所(他の地域等)ごとに構成要素別で比較する。